MUSEUM
ミュージアム都留 & 増田誠美術館

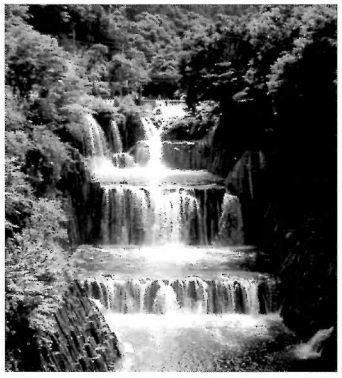
開館時間　午前９時～午後５時
※増田誠美術館は午後４時30分まで
観覧料　一　　般 300円(210円)
　　高・大学生 200円(140円)
　　小・中学生 100円(70円)
※( )内は、20名以上の団体料金です。
休館日　月曜日、第３火曜日
　　祝日の翌日
問合先　ミュージアム都留
　　☎45-8008

ミュージアム都留企画展
「都留市のたからもの ～都留市文化財展」開催！！
10月16日(土)～11月28日(日)

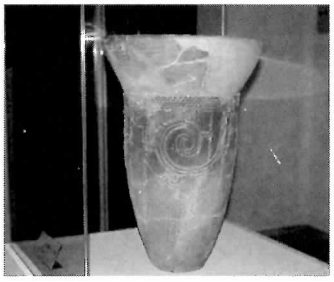
「文化財」とは、美術品や建造物、工芸品、古文書など、人間の文化的な活動によって生み出されたもののうち、価値が高く、後世に残すべきであると考えられるものをいいます。

法隆寺の金堂壁画が火災で焼失した昭和24年(1949)、これをきっかけにして、「文化財保護法」が制定されました。本市でも、昭和41年(1966)に「都留市文化財保護条例」が制定され、市指定文化財の認定が行われています。

これら都留市の歴史・文化を物語る文化財をご紹介することで、「文化財」というものが持つ意味について知っていただくために、本企画展を開催します。ぜひご来館ください。



■左：田原の滝(市指定名勝)
■中：尾県郷土資料館(県指定文化財)■右：中溝遺跡土器(市指定文化財)



※情報のお願い
「第二回 城下町つるの雛まつり展」(来年４月予定)に展示する為に、「古い節句雛人形(明治～昭和初期頃)」と節句の日に山に登って食べたお弁当をつめる「さげ重箱」の情報を探しています。実物、またはこれに関する情報をお持ち方はご連絡ください。

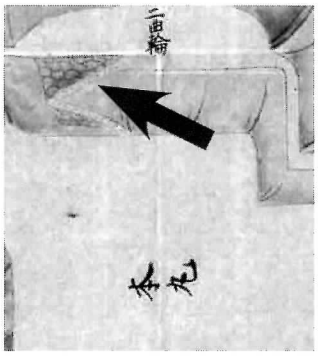
連絡先　城下町つるの
　　雛まつり実行委員会
重原千恵子　☎(43)1497

Report
勝山城の調査を終えて
―本丸調査編―

今月は二の丸の調査成果について報告したいと思います。この地点は、北斜面の一部が基壇状になっており、一部で人頭大の石が確認されていました。複数の人頭大の石は草木で覆われていたため、清掃発掘を実施しました。清掃発掘の結果、基壇は複数の人頭大の石から構成される石積みであることが分かりました。絵図を観察すると、二の丸から本丸へ繋がる坂道が描かれており、この石積みは坂道を構成するために築かれた可能性があります。

同時に二の丸の平坦部も調査しました。平坦部では地表下深さ約１ｍで築城期の造成面が確認されました。造成面は花崗岩の地山に交互に違う種類の土を敷いてつき固め、平らに造られています。造成面上からは釘や鍛冶のときに出た不純物であるガラス質の溶片が確認され、柱穴が１基確認されています。造成面の年代は定かでありませんが、造成面の上に堆積している層からは江戸時代初頭(17世紀前葉)の遺物が確認されており、少なくとも秋元氏以前に造成面が造られ、現在に至る勝山城の原形が造られたことが考えられます。

出土遺物は陶磁器片のほかに煙管や鉄砲玉が確認されています。



■左：甲斐国谷村城図。矢印部分に、二の丸から本丸へつながる坂道が確認できます。
■下：造成面から出土した釘やガラス質の溶片。

増田誠美術館企画展
『増田誠とゆかりの作家展』

増田画伯と親交のあった方々の作品を展示します。岡義実さんや林孝三さんの作品も展示します。ぜひ一度お立ち寄りください。

会　　期：10月２日(土)～11月14日(日)
開館時間：午前９時～午後４時30分
会　　場：増田誠美術館　(ふるさと会館２階)
休 館 日：月曜日、第３火曜日、祝日の翌日
問 合 先：ミュージアム都留

作品紹介

『ノルマンディー』岡 義実
油彩画20号

「第19回増田誠大賞公募展」入賞作品展開催！

入賞作品展示
期　日　10月２日(土)～16日(土)
　　９時～16時30分
入賞作品展示　ふるさと会館２階
入選作品展示　ふるさと会館１階